

取扱説明書

モナロー 高画質バックカメラ 12V24V兼用 業務車両用 防水コード20m付

注文コード:35172665

このたびは、高画質バックカメラ 12V24V兼用 業務車両用 防水コード20m付をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。また、いつでも取り出せる場所に必ず保管してください。

1 安全にお使いいただくために

ここに書かれた注意事項は、人体への危害や財産への損害を未然に防止するための内容です。
いずれも安全にお使いいただくためには重要ですので、必ずお守りください。



警告

この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。



注意

この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「ケガや傷害を負うこと、製品の破損やそれに伴う財産の損害が発生するおそれがある」内容です。

ご使用上の注意

【はじめに】 誤った使用方法により人的傷害や製品の破損、その他の物的損害が生じた場合、一切の補償、責任を負いません。
また、本製品の分解や改造、修理は、絶対に行わないでください。



警告

- 本製品の取付け(取外し)や配線は、専門的な知識が必要です。専門技術者に依頼してください。誤った取付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがあります。知識の無い場合は、ご自身の取付作業は行わないでください。 ● 本製品はDC12V～DC35V・マイナスアース車専用です。それ以外の電圧車両へは取付けできません。
- 配線作業を行う際は、必ずバッテリーのマイナス端子を外してから作業を行ってください。ショートにより感電やケガの原因になります。 ● コード類は運転の妨げにならないように引き回してください。ステアリング、シフトノブ、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因になります。 ● 作業後は車の電装品の動作確認をしてください。正常に動作しないと火災や感電、交通事故の原因になります。 ● カメラ取付けや取付状態を確認する場合は、車両を平坦で安全な場所に停めてから必ずエンジンを切り、サイドブレーキを確実に引いた状態で作業を行ってください。 ● コード類は運転動作の邪魔にならないように束ねてください。 ● エアバッグの作動の妨げになるような場所には取付けしないでください。 ● 本製品を分解、加工等の改造行為をしないでください。特に、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは、絶対におやめください。 ● 配線の引き回しはシートレール等の可動部にハーネス類を挟み込まないように引き直しを行ってください。 ● 取付けやアース配線に車のステアリング、ブレーキ系統、タンクなどのボルトやナットなどの保安部品は使わないでください。 ● ねじなどの小物部品は、乳児の手の届くところには置かないでください。誤って、飲み込むおそれがあります。万一口飲み込んだと思われるときは、すぐに医師に相談してください。 ● 目視による安全確認をしてください。モニター画面だけでなく、必ず目視による安全確認をしながら、ゆっくり後退してください。交通事故の原因となります。カメラの死角になっている人や物にぶつかるおそれがあり、交通事故の原因になります。 ● ヒューズ交換は、規定容量を守ってください。事故火災の原因になります。 ● ドリル等で穴あけ作業をするときは、ゴーグル等を使用して目に切り子や破片が入らないようにしてください。
- 車体に穴をあける場合には、パイプ、タンク、電気配線などを傷つけないでください。 ● 本製品の分解・改造などはおやめください。故障、破損の原因になります。これが起因する本製品のトラブルに関しては、当社では一切責任を負いかねます。 ● 故障や異常な状態のまま使用しないでください。画像が映らない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因となります。



注意

- 必ず付属品や指定の部品を使用してください。機器の損傷や確実に固定できず、事故や故障、火災の原因となります。 ● 取付け場所の汚れ(ごみ・ほこり・油)などを取り除き、しっかり取付けてください。走行中に外れ、交通事故やケガの原因となります。ときどき取付け状態(接着やねじのゆるみ等)を点検してください。 ● 本製品は車載用カメラです。車載以外の目的には使用しないでください。 ● 本製品は広角レンズを使用しておりますので、近い場所は広く、遠い場所は狭く映り、実際の距離感とは異なる場合があります。 ● ドライバーの視界を補助するためのもので、全ての危険及び障害物を映し出せるものではありませんので必ず目視で確認を行ってください。 ● 取付け後は確実に固定されている事を確認してください。 ● 電源線は金属部に触れないように配線してください。 ● 高圧力での洗車は行わないでください。本体に水が浸入したり、カメラが落下するおそれがあります。 ● コードを破損しないでください。断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。破損の部分からカメラ内部に湿気や水が吸い込まれ火災や感電、故障の影響になります。 ● コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものを載せる、熱器具へ近づける、車の金属部や高温部に接触させるなどしない。車体やねじ・可動部(シートレールなど)へ挟み込まないように、引き直す。ドライバーなどの先で押し込まない。 ● 本製品を車載用以外には、使用しないでください。発煙や発火、感電、ケガの原因となります。 ● 自動洗車機(高圧水)による洗車をしないでください。カメラ内部に水が入ると、火災や感電、故障の原因となります。また、脱落による事故の原因となります。 ● カメラ本体は、車幅、車の前後からはみ出さない場所に取付けてください。歩行者などに接触して事故、ケガの原因になります。

ご使用前に下記の内容を必ずお読みください。

- 本製品は鏡像タイプの(バックミラーやサイドミラーと同様に映す)後方確認用カメラです。 ● 本製品はドライバーの後方視界を補助するためのもので、全ての危険および障害物をカメラで映し出せるものではありません。 ● 本製品は広角レンズを使用しておりますので、近いところは広く、遠いところは狭く映り、実際の距離感とは異なる場合があります。 ● 本製品はRCAタイプの映像入力付きのモニターなどに接続可能です。シフトレバーをリバーズ(R)に入れたときの連動機能(カメラ映像の割込み表示)とスケール表示は、接続する機器での対応となりますので、動作の保証はいたしかねます。ご了承ください。接続する機器の説明書に従って、カメラの設定(画質調整等)を行ってください。
- 本製品を夜間や悪天候時にご使用になるときは映像が見えにくくなる場合があります。必ず目視にて車両状況をご確認ください。 ● レンズに雨滴や汚れが付着した場合、柔らかな布巾水を含ませて拭いてください。カメラのレンズ部分、取付台、コード類は変形や劣化を防ぐため薬品や磨粉等を使用しないでください。 ● 定期的に取付状態を確認してください。 ● 本製品の近くでは携帯電話や無線機を使用しないでください。画像ノイズや誤作動の原因になる場合があります。 ● 配線の取り回しは地デジアンテナ、GPSアンテナなどと離してください。本製品や他の取付機器に影響する場合があります。 ● 取付位置のスペース、ケーブルの長さ(取回し)を確認してから作業を行ってください。取付位置によりケーブルが足らない場合があります。

■ カメラ取付け位置について

「外装の技術基準」に準拠した取付けが必要となります。

- 保安基準についての詳細は、国土交通省のホームページ内、「道路運送車両の保安基準」を参照してください。

■ 規制の対象となるお車

- ※ 2009年1月1日以降に製作・登録された乗用車
- ※ 乗車定員10人未満の、専ら常用の用に供する自動車)
- ※ ナンバープレートが3,5,7,8(乗用車の改造車)

■ 規制の対象とならないお車

- ※ 2008年以前に製作・登録された乗用車
- ※ 商用車(4,1ナンバー車)
- ※ 高さ2m以上の部分に取付けする場合
- ※ フロントラインより下に取付けする場合

■ 作業の順序

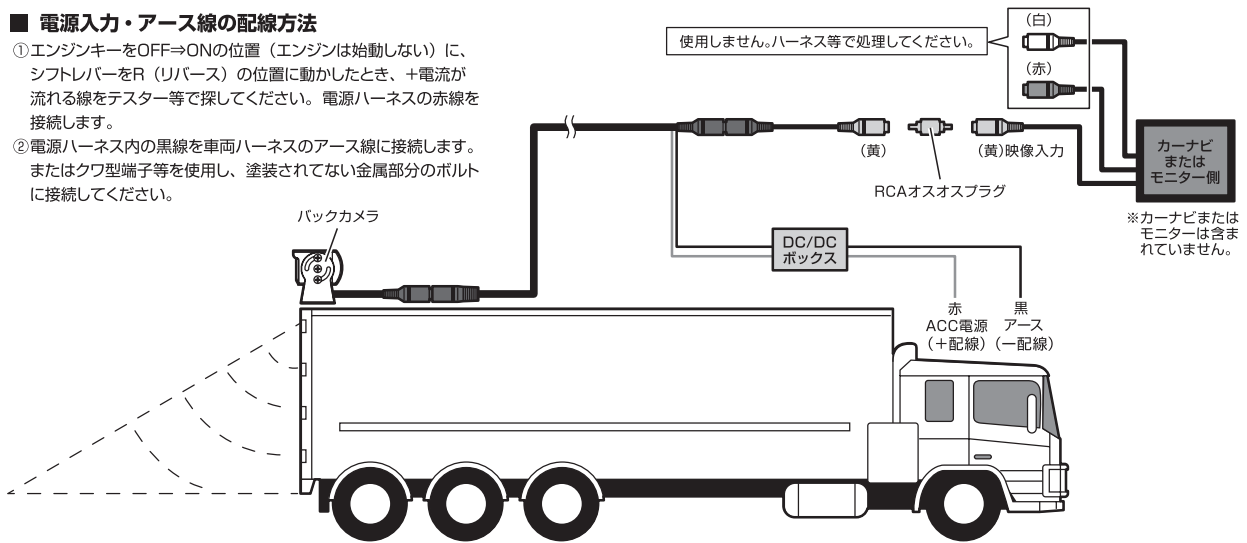
- ① バッテリーのマイナス端子を外す。
 - ② 各種コードを配線する。 ※接続後必ずハーネステープで保護してください。
 - ③ バックカメラを取付ける。
 - ④ バッテリーの マイナス端子を、もとに戻す。
 - カメラ、取付台が車体へ干渉しない位置へカメラを取付けてください。
(仮止めて角度調節してください。)
 - 車体の取付けたい位置に合わせてカメラの角度調整を行い、カメラが車両や部品にあたらないことを確認してください。
 - 左右に大きくずれて取付けるとイメージと見え方が異なる場合があります。
 - ドアの開閉時にケーブルが、あたらないことを確認してください。
 - コネクターは確実に差し込んでください。また、着脱時にはコードを引っ張らないでください。
 - 映像用コードやカメラのコードは、改造による延長はしないでください。画面にノイズが出たり故障の原因となります。
- ※ ショート事故防止のため、電源コードのコネクターは、必ず全ての配線をすませてから接続してください。
- ※ バッテリーのマイナス端子を外すとメモリーが消えてしまうことがあります。

⑤ 取付けの確認

- 水平な場所へ停止させ、イグニッションキーをONにしてモニターの映像を見てカメラの角度を調節してください。
 - 確認は車両が動かないよう、サイドブレーキを確実に引いた状態で行ってください。車両が動く事故の原因になります。
- ### ⑥ 取付け後の確認
- ホーン、ウインカー、ストップランプが正常に作動するか確認してください。
 - バックランプ信号が正常に機能するか確認してください。
 - 穴あけ加工箇所には、錆止め等の処理を行ってください。また水の侵入を防ぐため、穴あけ加工された場合は、市販のシリコン剤でしっかり防水処理を行ってください。
 - 処理が不十分な場合雨水などが車内に侵入する原因になります。

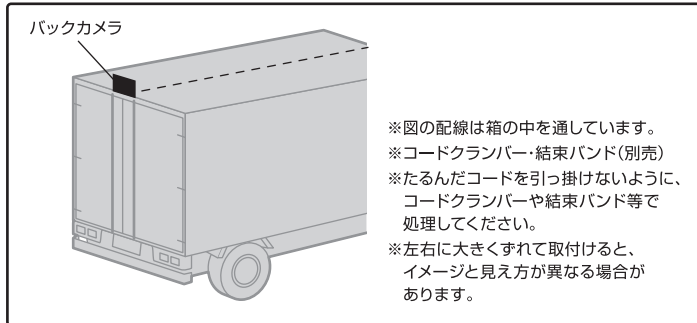
■ 電源入力・アース線の配線方法

- ① エンジンキーをOFF⇒ONの位置 (エンジンは始動しない) に、シフトレバーをR (リバース) の位置に動かしたとき、+電流が流れる線をテスター等で探してください。電源ハーネスの赤線を接続します。
- ② 電源ハーネス内の黒線を車両ハーネスのアース線に接続します。またはクワ型端子等を使用し、塗装されていない金属部分のボルトに接続してください。



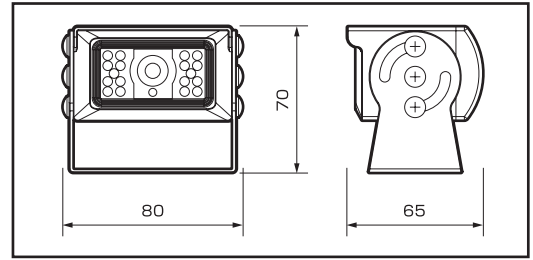
■ カメラケーブルの引き回し方法

- 雨水が浸入しないようにカメラのコードを引き込んでください。
- ドアの開閉でコードが引っ張られないように、コードを余分にたためて引き回してください。
- ※ バックドアやトランクリッドをゆっくり開閉し、カメラのコードがバックドアの縁に挟まれてこすっていないか、十分に確認してください。傷の部分からカメラ内部に湿気や水が吸い込まれることがあります。
- ※ カメラのコードは、アンテナコードからできるだけ離して引き回してください。(テレビ、ラジオの音声にノイズが入ることがあります。)
- ※ AMラジオ放送に雑音が入るときは、車両のワイヤーハーネスからカメラのコードを離してください。



- ※ 本説明書のイラストと実際の製品では一部形状が異なる場合があります。
- ※ 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- ※ 保安基準 (法令) に違反するような取付けはしないでください。
違法改造によるトラブルや事故については、当社では一切責任を負いません。
- ※ 取付けの不備や配線ミスなどの事故については、当社では、一切責任を負いません。
- ※ 破棄する際は、自治体の方法に従ってください。
- ※ 仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合がございます。

■ カメラサイズ



■ 仕様

イメージセンサー	COMC 1/3"PC1099
画角	水平広角:96度 垂直広角:70度 対角広角:140度
焦点距離	2.8mm
水平走査線	1000TV LINE
赤外線点灯	10ルクス
解像度	976X496
作動電圧	DC12V~35V
消費電力	1.7W以下
S/N比	48db以下
照度範囲	0ルクス (赤外線LED作動時)
映像出力	NTSC
防塵防水性能	IP67
動作環境	-20度~50度
ケーブル長	20M
付属品	接続ケーブル、RCAコネクターオスオス各1
本体重量	305g

※商品改良の為、仕様・外観等を予告なく変更することがあります。
この変更によって生じる損害については、当社はその責任を負いかねますので予めご了承ください。